2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	検証病理診断学研究	塩見 達志

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

（1）疾患の病態を理解し，さらに新たに解明するために，病理学的な研究手法の意義を理解し，自ら実践する能力を修得する。
（2）臨床的，または分子生物学的な事項と連関させるために，病理学的研究に関する実施の適応，研究の手法，結果の解釈法をそれぞれ習得する。
（3）病理学的研究成果を実地臨床において役立てるために，研究内容を臨床的意義と合わせて社会発信できる能力を身につける。

授業到達目標

（1）病理組織標本作製の計画を立てることができる。
（2）病理組織標本を適切に作成することができる。
（3）病理組織標本を適切に評価することができる。
（4）研究対象とする疾患の臨床像，病理所見について，最新の知見を含めて説明できる。
（5）自ら作製した病理標本について，その臨床的意義を説明できる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	水	13:00 - 14:00	塩見 達志	毎週の研究内容の進捗確認と翌週の研究計画について
毎月	第 2, 4 火	16:00 - 17:00	塩見 達志	病理学総論および対象疾患に関する病理学各論について
毎月	第 3 火	16:00 - 17:00	塩見 達志	実験手法について
毎月	第 1 火	13:00 - 14:00	塩見 達志	剖検検討会，症例カンファレンスを通じて病理形態学的診断法や分子病理学的診断法を習得する。
月 1 回	不定期	16:00 - 17:00	塩見 達志	文献検索，論文作成について
月 1 回	不定期	15:00 - 17:00	塩見 達志	免疫組織化学，他の病理学的実験手技について
月 1 回	不定期	16:00 - 17:00	塩見 達志	病理形態学的診断について

評価方法

（1） 1・2 年次に中間発表へ出席する。
（2） 2 年次に中間発表で発表する。
（3） APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：1 年次に受講。]
（4） 1 週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（1） 1 週間ごとの実験内容報告に対し，指導・助言を行う。
（2） 中間発表の抄録作成時に，指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9784830604768, 組織病理アトラス（第 6 版）, 深山　正久・小田　義直・坂元　亨宇・松野　吉宏・森永　正二郎・森谷　卓也（編）, 文光堂, 2015
ISBN-9784765317665, 外科病理診断学 : 原理とプラクティス, 真鍋　俊明（監）, 三上　芳喜（編）, 金芳堂, 2018

参考書

ISBN-9784260050425, 標準病理学, 仁木利郎, 小田義直編集 ; 仁木利郎 [ほか] 執筆, 医学書院, 2023
ISBN-9784830604744, 病理組織マップ&ガイド, 深山正久（編）, 文光堂, 2014
ISBN-9784765317825, 免疫染色究極マニュアル, 伊藤智雄編集, 金芳堂, 2019
ISBN-9784830604812, 外科病理学, 深山正久, 森永正二郎編集主幹 ; 小田義直 [ほか] 編集, 文光堂, 2020

準備学習（予習・復習等）

（1）実験前に，教科書・参考書等を読み，約 1 時間程度の予習を行う。
（2）毎週，履修手帳に実験計画・内容を簡潔に記載する。
（3）実験終了後，その日のうちにデータを記録し，提出する。
（4）指導を受けた内容について，毎回 1 時間程度を目安に，教科書・参考書を含めて復習する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（1）卓越した研究成果をあげ，病理診断学の深い学識を獲得する。
（2）学術研究が国民からの信頼，負託に応えるものであることを理解し，高い倫理観を身につける。

注意事項・メッセージ
（1）大学院生として，病理学の勉強，実験に熱心に取り組んでください。 （2）今回の研究結果がどのように臨床医学に役立つかを意識して取り組んでください。 （3）手技の取得や研究成果だけではなく，実験結果の解釈，次のステップへの考察など，研究のプロセスを重視してください。